

1. 改定の趣旨

今日、市民ニーズが益々複雑・多様化する一方で、厳しい財政状況等により行政のあり方の見直しが問われています。今後は、行政だけでなく、NPOなど地域の多様な主体がともに公共を担い、協働しながら豊かな地域社会を創っていくことが求められています。NPOはその主要な担い手として期待されています。そのため、NPOの活動の裾野を広げるとともに、さらにパワーアップを図ることが重要です。

県では、平成12年度に策定した「行政方針」に基づき、NPO施策を実施してきました。現在、その施策はほぼ実現し、NPO活動を促進する土台が出来上がりました。今後は、さらに中身の充実を図るとともに、団塊の世代への対応やNPOの信頼の確保、協働の推進など時代に対応した施策を展開し、NPO活動をさらに活性化することが必要です。そのために、今回「行政方針」を改定することにしました。

2. 「行政方針」の性格

- ・ NPO活動を促進する上での県の基本的考え方と施策展開の方向性を示す基本方針
- ・ 各分野のNPOに関する諸施策を実施する上での全庁的な共通認識を図る
- ・ 市町村、大学、企業等、様々な主体との連携を進める

3. 「行政方針」で目指す県の将来像

NPO活動の活発な県民主体の豊かな地域社会

目指すNPOの姿

- ・ 団塊の世代をはじめ、多くの県民がNPO活動に参加しています
- ・ NPOは県民から信頼されています
- ・ 自立し、継続的・安定的な活動をしているNPOが増えています
- ・ 様々な分野で多様な活動を行うNPOが増えています
- ・ 様々な主体との協働が広がっています

県のNPO行政の方向性

- ・ 県民がNPO活動をとおして地域で生き生きと活動できる環境をつくります
- ・ NPOの持続的な活動を支えるための側面的な支援を行っていきます
- ・ 県の持つ広報力や情報力を活用し、多様な主体をつなぎ、民間の力をコーディネートしていきます
- ・ NPOと行政とのパートナーシップを構築して協働をさらに拡大し、ともに豊かな地域社会を創造していきます

5. 重点的な取組

1 NPO活動パワーアップの期待の星！  
団塊の世代のNPO活動参加促進

2 県民の参加と支援でNPO活動パワーアップ！  
NPO活動の信頼確保のための仕組みづくり

3 県&NPOの協働推進で地域力アップ！  
協働ルールの確立と協働マニュアルの作成

4. 4つの施策と16の取組

は、重点的な取組

1 NPO活動の普及促進と県民の信頼確保

- 県民への普及・啓発
- 団塊の世代のNPO活動参加促進
- 職員の理解促進
- NPO活動の信頼確保のための仕組みづくり

2 持続的なNPO活動を支える環境整備の充実

- 財政基盤の強化
- 組織運営力の強化と人材の育成
- 支援拠点・活動拠点と情報提供システムの充実
- NPOの多様化に対応した支援

3 NPOと県との協働の推進

- NPOと県との意見交換の場づくり
- 庁内の協働推進体制の充実と職員の意識改革
- 協働のための情報提供と情報公開
- 協働ルールの確立と協働マニュアルの作成

4 県と様々な主体との連携によるNPO活動の促進

- 市町村や国との連携
- 大学等との連携
- 企業との連携
- 財団法人いきいき埼玉、社会福祉協議会等との連携

の社会を実現するために

の社会を実現するための

p 1

p 2

p 3 ~ 5

p 1 6

p 1 5 ~ 3 4